



# 西部教育局からのお役立ち情報 今月のトピック紹介版

6月号

## シリーズ「学習評価の充実を図る」

授業における評価は子どもたちの学習を支援するために行われるものであり、そのためには、子ども一人一人に対する授業でのきめ細やかな見取りが重要です。

前回5月号では、授業づくりにおける「単元の評価規準の設定の必要性」について触れましたが、子どもたちの実態をもとに反応を予想し、手立てを想定して支援を行うことが大切です。

本号では、具体的事例として大山町立名和小学校の校内授業研究の取組を紹介していますので、日常の実践の参考にしてください

## シリーズ「若手教師のための授業づくり」

授業の前には誰もが計画を立てて準備を進めます。まず単元（題材）全体の目標を設定し、その目標を達成する道筋を考えます。

この道筋づくりが単元（題材）の授業計画というわけですが、1時間ごとのめざす子どもの姿を明らかにして、授業を組み立てる必要があります。このような単元（題材）づくりのポイントについて紹介します。

## 特別支援教育ほっと通信 —授業づくり【事前準備】—

特別支援学級の子どもたちの学力向上につながる授業づくりの「事前準備」にスポットを当てています。指導する教師として見落としてはならないことは何なのか？授業の前に必要なことはどんなことなのか？具体的な支援の方策についても紹介します。

上記、付箋をクリックするか、西部教育局HP「西部教育局からのお役立ち情報」をご覧ください。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/102586.htm>